

みかん選果場新設(2021年～)

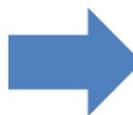
日南共同選果場ができる前 (2020年まで)



8:00 収穫



15:30 家庭選別



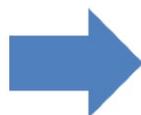
18:30 毎日トラックでみかんを運搬し、
宮崎市の青果市場へ(往復120キロ)。
22:00 帰宅後に翌日の段取り。睡眠時間が削られる。



現在 (2021年以降)



8:00 収穫



15:30 未選別のみかんを、車で5～10分の日南選果場へ持ち込み

自社と他生産者のみかん販路を求め、
台湾への直接輸出開始

みかん選果場新設(2021年～)

日南共同選果場 (2021～)



日南共同選果場の概要
敷地1,600㎡、建物400㎡
1輸出ロット6トンに対し
選果処理能力：8トン/日
オゾン殺菌型長期貯蔵庫：60トン
光殺菌機: 1台

光殺菌機 (日本に2台)



オゾン殺菌型長期貯蔵庫



AIカメラ付き光センサー



ロスとの戦い



台湾にて、みかんの着荷状況を確認

台湾のバイヤーと協議の様子

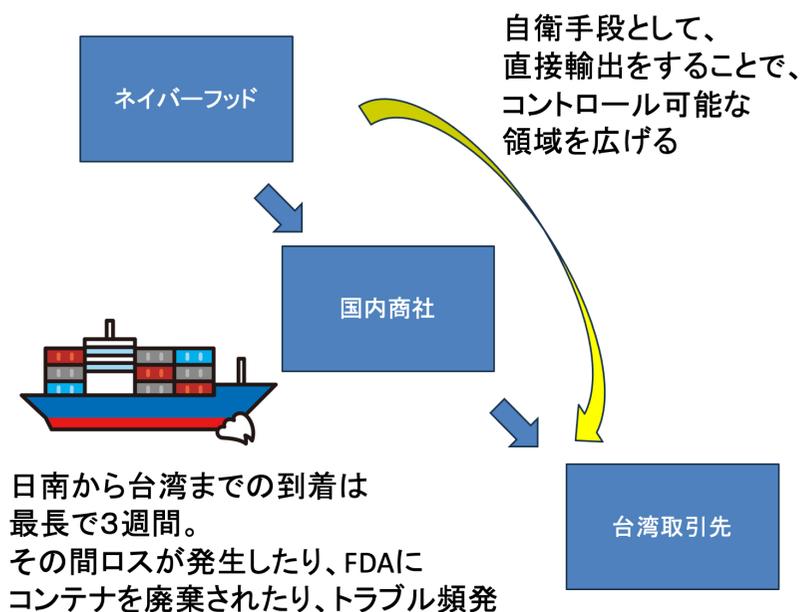
自衛手段としての直接貿易スタート

台湾基準での栽培＝農薬に守られない、傷みやすいみかんを、いかに船で運ぶか



商社経由で輸出し、台湾での傷みが頻発。FDAでコンテナ廃棄され、数百万円弊社が補償した。自衛手段として、直接貿易を開始

年度	輸出量	輸送手段	ロス率
2019年度	0.2t	主に航空便	
2020年度	30t	20ft : 5tx6回 航空便370kg	平均 10%
2021年度	87t	20ftx7回、40ftx6回、航空便500kg、混載5回	平均 15%
2022年度	67t	20ftx4回、40ftx3回、航空便1600kg、混載8回	平均 13%
2023年度	70t	直接貿易4回、20ftx4回、40ftx 3回、航空便	1%



日本→台湾輸出みかんの1/4はネイバーフッドから出荷